

# 水戸で日本語スピーチ大会

県内在住の外国人による日本語スピーチコンテスト（県国際交流協会主催）が1日、水戸市千波町の県民文化センターで開かれ、フィリピンやラオスなど

13カ国の15人が出場し、表情豊かに、流ちょうな日本語で熱弁を振るった。インドネシア出身で茨城大に留学中のネランダ・アザニア・アユさん（水戸市）が金賞の県知事賞に輝いた。

出場者は、それぞれ母国の伝統的な衣装などで登壇し、県内の生活で感じた日本の文化の魅力や将来の夢など

## 表情豊かに熱弁



を各5分間でスピーチし、内容や表現力を競った。

ネランダさんは日本に滞在して10カ月とい

い「日本の気付かれていない美しさ」と題し、贈り物を風呂敷などで包む日本の文化に触れながら、本音を出さない日本人の付き合い方に対する感想などを語った。

## 知事賞にネランダさん

その中で、「包む文化は柔らかく優しく美しいと思うが、中身も見せてほしい。包み美しさをもっと伝わる」などと優しく語り掛けた。

このほか、主な受賞者は次の通り（敬称略）。

県議会議員賞 金塚眞（韓国出身、つくば市）▽県教育長賞 児玉彬彬（中国出身、東海村）▽ひばり賞 カン・ヌサラット・ジャハン（バングラデシュ出身、つくば市）

（平野有紀）

県知事賞に輝き表彰されるネランダ・アザニア・アユさん。県民文化センター